


令和3年度 さいたま市立大戸小学校 学校関係者評価書

さいたま市立大戸小学校

学校関係者評価委員長 中島 隆一 

1 学校関係者評価の実施体制

(1) 構成人数 11名

(2) 実施回数 計3回 通常会議6月17日(木)、10月16日(土)、書面会議1回、

2 学校関係者評価(学校関係者評価委員の意見等)

令和3年度の学校教育目標「かしこく やさしく たくましく」、めざす学校像「笑顔あふれる大戸小」、重点目標「明るく、自ら考え、落ち着いて学習に取り組む児童の育成」を中心に学校関係者評価委員会で評価を行った。

○確かな学力の育成について

- ・子どもたちは全体的にまじめに学習に取り組んでいる様子である。
- ・日頃の様子を見ていると子どもたちは考えて行動しているように見える。
- ・チャレンジスクールでは宿題を広げて取り組んでいる様子が見られ、その子たちの学力はしっかりとついているように感じる。広げないで別のことをしている子たちは心配である。
- ・GIGAスクール構想が始まり、タブレットを活用する場面が多くなってきた。操作を理解してすぐにとりかかれる子はスムーズに行えるが、操作に時間がかかる子は問題を解く時間が少なくなり、質問をする時間も無くなっているように感じる。より使いやすいタブレットの活用方法は次年度の課題である。

○豊かな心の育成について

- ・挨拶は全体的に気持ちのよい子が多い。高学年がしっかりとあいさつをすると低学年もするようになっていた。今後も気持ちのよいあいさつができるように指導を継続してほしい。にこパトなど顔を知っている地域の方にはするが、知らない人にはしないなど子どもたちの中で使い分けをしているように感じる。
- ・子どもたちは友だちのことを考えながら生活している様子が見られた。子どもたちのアンケート結果でも友だちと仲良く過ごしていると回答した子は昨年の1.8倍増になっている。
- ・高学年が低学年の様子をしっかりと見守っている様子が見られた。

○健やかな体の育成について


- ・コロナ禍もあり、外で遊んでいる子は少なくなったように感じる。
- ・規則正しい生活はできている子が多いと感じている。
- ・ゲーム中心の子が登校時間ギリギリに集合することがある。睡眠時間が少ないのではないかと感じている。
- ・ランドセルが重いように感じる。荷物の持ち帰り等は見直しが必要に思う。
- ・登校はしっかりとできているが、下校は走って帰る子が気になる。安全指導をお願いしたい。
- ・先生方が下校時見守りをしていて、子どもたちも喜んでいる。

○開かれた学校について

- ・長い工事期間であったが、安全管理をよく行っていた。
- ・学校だよりや安心メール、HP等の情報発信もよかった。安心メールの文面が長いので、必要な内容だけでもよいのではないかなと思う。
- ・学校運営協議会準備委員会での熟議はよかった。コミュニティスクールの導入が次年度から始まるので地域・学校・PTAと連携をしながら互いに協力的に子供たちの成長を見守っていきたい。「子どもたちのために何ができるか。」を第1に意識統一をしていくとよいと思う。
- ・コロナ禍で不安な方もいる。親自身の悩みなどもコミュニティスクールで考えてもよいかなと思う。

学校関係者評価を受けた学校の対応

- ・ハイブリット授業等を実践してきたことで、子どもたちもタブレットPCを活用した授業やオンライン授業に慣れてきている。今後スムーズな操作ができるように指導を進め、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて授業改善を進める。
- ・コロナ禍で異年齢交流等に取り組めない状況ではあるが、高学年に先輩としての意識を高め、「笑顔あふれる大戸小」のよき伝統を継続できる力を育成する。
- ・コミュニティスクールの全面実施にあたり、今年度の熟議より、登下校の安全管理を重点的に学校運営協議会で進めていき、子どもたちの安全指導を地域とともに実践する。
- ・次年度も行事等の見直しを図り、コロナ禍のできる取組を実践する。

さいたま市立大戸小学校長 長島 クミ子 

※ A4 1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。